

科目名	フィールドワーク（人間と文化） 「昔話が息づく町・遠野」		担当教員	高 森 智 子		
			担当形態	単独		
テキスト	「新版 遠野物語 付・遠野物語拾遺」 角川芸術出版	単位数 授業形態	2単位	演習	開講時期	集中
講義概要 ■到達目標 ・次世代への継承も含めて、「文化の担い手としての自分」のあり方について考えを述べることができる。 ・千葉の昔話を少なくとも1つは語ることができる。 ・見知らぬ人とも積極的にコミュニケーションを取り、他者に感謝する心をもつ。 ■授業の概要 生活が時代と共に変化する一方で、昔ながらの生活の中で育まれてきたものを次世代に伝えようとする人々がいます。今を生き、保育に関わる者として、私たちは何を受け継ぎ、何を子どもたちに伝えていくのかということについて考えます。 柳田国男の「遠野物語」で知られる遠野では、様々な人が昔話や習俗などの文化を伝えようとしています。それらの取り組みを通して、自分たちの文化について考える端緒としてください。 ■授業計画 1) 事前研修 ・遠野及び「遠野物語」に関する簡単な解説。 ・千葉市内または千葉県内で、昔話の舞台となっているところをめぐる。 ・スターバックスコーヒー千葉おゆみ野店でのお話を企画・実施（8・9月）。 2) 体験研修 9月中旬に5泊6日で行う予定 研修内容 ・とおの物語の館・遠野市立博物館・伝承園等、伝承関連施設を見学する。 ・語りに取り組んでいる遠野市内の保育園を訪問し、昔話交流会を行う。 ・農家に民泊し、各家庭で交流する。 ・遠野まつりに参加する。 3) 事後学習 ・研修レポート作成。 ■準備学習 ・「遠野物語」「遠野物語拾遺」は必ず一読すること。 ・あわせて、参考文献に挙げた資料も読んでおくことが望ましい。 ・千葉県の昔話を、1つは語れるようになっておくこと。昔話交流会で披露します。 ■評価方法 ・事前準備への取り組み — 10% ・研修中の取り組み — 50% ・報告書作成・発表 — 40%						
参考文献	「おしらさま」小峰書店 「千葉のむかし話」日本標準 「千葉県の民話」偕成社 など		特記事項	定員:5名（希望者が多い場合、レポートによって参加者を決定する場合があります） 予算:7万円程度		
卒業・免許状・資格との関連	保育士資格選択		幼			
			保	教養科目		